

寄付講義（現代経営実践論）レポート

柑芦会 小瀧

1. 日時 2025.10.09 13:10~16:20
2. 講師：長野 佳浩様（54期）（対外的には「元親」戦国の長曾我部元親に習い、通称として使用。）
株式会社 IKUSA（メディア・イベントサービス業 取締役（陣羽織を着ての講義）
3. 受講生： 100名
4. テーマ： あそびと課題解決（あそびの総合カンパニー）
5. 自己紹介：大阪市出身（商売人の3代目予定）→府立高校→和歌山大学経済学部（ラグビー部）→ベンチャーの人材派遣会社（8年）→ITベンチャー企業（1.5年）
6. 経歴：2014年に4名のIKUSAに入社。この段階で魚介商3代目を継ぐのをやめる
7. 会社の紹介：2012年創業。2016-9名、2021-40名、2025-90名に。
企業、自治体向けに「チャンバラや謎解きゲーム」等100種類以上のラインナップでイベント・研修・お祭等の提案、販売で、年商10億円。

8. 講義

13:40~50:全員で体験する「あそびの力」の説明

コンセンサスゲーム（合意形成研修）-新人研修等での仲間意識形成。

6人で1チームを作り、問題発生→個人の解決策→チームでの解決策→専門家の結論との比較を行う。

13:50~14:00:肩慣らしで、「NGランキングを当てるとドボンのゲーム」

「県別でリンゴの出荷量ランキング・20代・O型女性の好むアイスクリームメーカー及び商品名当て」をまず個人で考え次にチームで考える・(スマホ入力で集計)

実際の課題としてのゲームは「サバイバルゲーム」。アマゾン河で遭難、サバイバルに必要なもの10個の順番とその理由を検討し、専門家の考える順位との比較。合計差の少ないチームから順位を決定。(ロープ・2Lの水・銃・救命ボート・非常食・鍋・鉈・救命箱・航空写真と磁石・ライター)

10分の休憩：10分で個人の意見をスマホに入力。

14:40~15:20:ゲーム（6人でチーム。26分でチームの意見をまとめ4分でスマホに入力）。

まとめるための障害：強すぎる個人の主張・仲良しグループでのナアナア・リーダーとメンバーの関係性に配慮したうえで、下記行動基準に従ってゲームを開始。

前提として：むやみに動かない、救助を待つ・遭難に気づいてもらうため、生命の維持、障害を乗り越えるために必要なものの順序をつける。

15:30~15:40 3チームが代表して発表。

振り返りとして、イ) 目標の統一と「主張するための合理的な相違点を。」ロ) 道筋を立て、大きな対立は後で、ただし多数決での結論はダメ。3) 何を改善するのか、そのためのプロセスは適正か？

総括：個人での解決策よりチームとしてコンセンサスで導いた結果の方が、専門家の判断に近かった。

結果：上位3チームの点数は同点であった。(鉈・鍋・ライター・医薬品・非常食・ボート・ロープ・銃・水)

15:50~:小テスト

1. コンセンサスを通じ学んだこと、気づいたこと
2. チーム内で意見が対立したとき、どのように解決したか？
3. 今日のまナビから今後の大学生活や就職活動に生かせそうなことは？

寄付講義（現代経営実践論）レポート

柑芦会 種坂

1. 日時 2025.10.16 13:10~16:20
2. 講師：レンゴー（株）人事部 中川 麻菜美様（68期）
スタッフ：同社取締役兼副社長執行役員 堀 博史様（29期）、人事部 北野 ななみ様
3. 受講生： 106名
4. 自己紹介：2020年3月和歌山大学経済学部卒業→同年4月レンゴー入社→同年7月人事部人事課配属
5. 講義目的：①レンゴー（株）について知る②自己理解を深め自信の価値観を知る③自身の将来のイメージ
6. 講義
 - (1) レンゴー株式会社について知る(13:15~35)：会社紹介ムービー（高校放送部→包装部）、広報活動（テレビCM放映、関西万博に出展）
事業内容について、強み：7000社を超える幅広い取引先、産業向け商品（食品57%農産物9%）トータルパッケージングサービス（軟包装、紙器、段ボールを一貫調達）環境への取り組み（REBIOSパッケージ）顧客の課題を解決（ケースをカラフルに、インクジェット方式を使った多彩な印刷で広告効果）
 - (2) 自己理解を深め自信の価値観を知る。自身の将来のイメージを膨らませる(13:35~14:00)
就職活動における準備：自己分析、ES作成、企業分析、会社説明会、試験対策
就活開始前にやってよかったこと：自己分析
社会人経験：働く中で意識していたこと、分からないことはすぐに確認する、失敗から成長するマインド
実習 個人ワーク(14:00~14:15) 自己分析講座 ①大学生活で頑張った経験②なぜその行動をとったのか？③価値観の整理④自分の強みへの変換
 - (3) 段ボール組立体験：(14:15~14:25) 10分でペンシル立てかボックスを組み立てる
 - (4) グループワークグループ編成、実習開始に際して5~8人程度に(14:25~14:30)。担当を決める
グループワーク(14:30~15:30)：「自治体を盛り上げる特産品の詰め合わせる通販用パッケージ」の提案パッケージ名もしくは企画名、パッケージ図案、商品コンセプトをA3シートに作成
15:00に図案作成を促す。2グループくらい発表してもらう。
①ルービックキューブ型のケースを作成して4面をみかんなど果物やしらすなど海産物の入れ物として使えろとし、インクジェット方式の印刷で色彩豊かに。コスト高になるのが欠点
②地場の湯浅醤油瓶が3本入る段ボール製の樽容器を作成し、木目模様を印刷する
レンゴーでもパッケージに北斎の神奈川沖波裏の名画を印刷
まとめ：①何事も早めに取り組むこと②失敗は自分の成長につながっている③大学時代の学びは何らかの形で役に立つ
 - (5) 堀 博史副社長（29期）所感(15:30~15:40)
当社は入社時1000億円が現在1兆円の売り上げ、自分の就職先は自分で決める、段ボール生産シェアは30%で業界1位、「鶏口となっても牛後になるな」が企業の力
社会人になって心構えとして欲しいこと
①色々な仕事があるが、嘘を付かないこと、正直に説明すること②仕事を指示されて、出来ない言い訳をせず自分で考えて苦しい場面で解決策とすること③皆さんにお礼を言いたい、明るく真面目に勉強している
 - (6) 小テスト(15:40~15:50)
 1. 自己分析ワークを通じて気が付いたことや、今後のキャリア形成について自由に述べて下さい。
 2. 本講義での学びについて自由に述べて下さい。

寄附講義レポート

記：柏木

1. 日時：2025年10月23日（木）13：10～16：20
2. 講師：ヤンマーエネルギーシステム（株）山下宏治代表取締役社長（37期）同人事部長高柴健一
3. 受講生：108名
4. 講義項目：
 - (1) ヤンマーグループの会社概要について(40分)
 - (2) ヤンマーでのキャリア形成について（30分）
 - (3) キャリア理論と実態（20分）
 - (4) Q&A
 - (5) キャリアワークショップ（60分）
 - (6) 小テスト（30分）、
 - (7) Q&A
5. 講義内容：
 - (1) ヤンマーグループの会社概要について(山下社長)
ヤンマーの会社設立から売上高・エリア別売上高比率・連結業績推移
ヤンマーグループのミッション及び未来へのビジョンについて
創業者精神「燃料報国」・ロゴ及び社名の由来 事業一覧とエネルギーシステムの役割
未来に向けたヤンマーの取組
ICT技術で現場の見守り・「安心」と「経営」をサポート
YANMAR FLYING-Y BUILDING と次世代育成活動(文化醸成活動)
エネルギーシステム事業の概要
グローバルネットワーク、パートナーシップ、製品とソリューション及び会社概要
国内主要拠点、取扱製品・サービス、次世代エネルギーへの挑戦(発電機・空調機)
 - (2) ヤンマーでのキャリア形成について
山下社長のモチベーショングラフでの環境の変化によるモチベーションの高低について。
 - (3) キャリア理論と実態(高柴部長)
キャリア理論の枠組み①自己理解の促進②意思決定の支援③キャリア発展の計画④適応力の向上
⑤心理的サポート の中から自分に合った理論を見つけることによりキャリア選択が可能。
キャリア選択での職業選択理論と構造理論(現実的・研究的・芸術的・社会的・企業的・習慣的)による
キャリア選択
 - (4) キャリア理論に基づくワークショップ
それぞれの人生の折れ線グラフを作成し意見交換及び感想の公表と導き出される強み、弱み
 - (5) 小テスト ①印象に残ったキャリア理論 ②今後のキャリアについての考え
6. 感想(柏木)
「現代経営実践論」(一業界研究一)という科目で山下社長のキャリアの中で人生の折れ線グラフを説明し高柴部長からキャリアについての理論を詳細に説明受けて、受講生がそれぞれの人生での折れ線グラフを通じ自分を見つめ直しこれからのキャリア形成にどのように生かすか興味ある講義でした。

寄付講義（現代経営実践論）レポート

柑芦会 種坂

1. 日時 2025.10.30 13:10~16:20
2. 講師：紀陽情報システム（株）ソリューション推進部 部長 塚崎 公郷様（50期）
スタッフ：同人事部シニアマネージャー 田上 裕之様（35期）、山本 真子様（69期）
3. 受講生： 98名
4. 講義
 - (1) 紀陽情報システム株式会社について(13:15~13:40)：人事部 榎本 様
 - ①IT 業界と SE について：ソフトウェア業界、情報処理サービス業界、インターネット業界、通信業界、ハードウェア業界。職種：IT コンサル（営業）、システムエンジニア（設計）、プログラマ（開発）
システムエンジニアに必要な力・・・コミュニケーション力・チャレンジ精神・論理的思考力
 - ②IT 業界における当社の位置づけ・・・ソフトウェア業界・情報処理サービス業界に分類
事業内容：金融機関向けシステム開発、自治体向け行政システム開発、システム運用・コンサルティング
紀陽銀行の系列：創業40年、売上38億円、社員数290名、文系60%、平均年齢41歳など
 - ③仕事体験のご案内：SE 体験コース、開発体験コース→SE の理解が深まる、未経験でも楽しかった
 - ④教育制度・・・新入社員研修、指導員制度、技術手当一時金、海外研修、職階別研修でやる気を後押し。
 - (2) DXマインドセット (13:40~14:30)：ソリューション推進部 塚崎 様
デジタル人材 (DX) と IT 人材の違い=DX は変革できる人、IT 人材はシステムを構築・運用できる人
 - ①D (デジタル) データを活用できる状態、X (トランスフォーメーション) データを活用し、提供する価値や仕組みを「変革」すること→デジタル化でサービスや業務、組織を変革し競争優位性を確立する。
 - ②データ：90%以上のデータが直近数年間で生まれた→急増の大きな要因はクラウド化やスマホの生成データ、YouTube など動画コンテンツ。脳の処理能力は変わらないからツールを使って「情報処理」
 - ③社会の変革：インターネットがもたらした変革と同等の変革がやってくる。Society4.0 →Society5.0
2030年に最大79万人デジタル人材が不足する。IT 導入が進み、多くの人がデジタル人材と変わる。
 - ④仕事：まだまだ残る紙の仕事、紙はデータでないが紙自体は悪ではない。仕事で電話を多用するのか→相手の時間を拘束、記録に残らない、複数人と同時に情報共有できない。緊急時や相手の様子をキャッチ
 - ⑤事例紹介：「PC 問い合わせ担当の悩み」なぜ→分析→解決策→効果のスキームで問い合わせ 50%軽減
Microsoft365 で問い合わせ管理ツールを作成し課題解決。「なぜ」→「やめる」→「やってみる」
 - (3) 自己紹介 (14:30~14:40)
塚崎公郷 (つかざきなおあき) 担当履歴：プログラマ→SE→IT 企画→DX 推進→IT コンサル
 - (4) グループワークグループ編成 (14:50~15:00)、実習開始に際して5~6人程度に。担当を決める
ワークショップ(15:00~15:50)：①大学生活や普段の生活の中での「なぜ」を見つけ、メンバー間で共有し分析してみてください。②辞めることを検討してください③やってみた、やってみようと思った事を検討してください※アプリやツールを活用する方法等
3グループから発表 (15:40~15:50)：
 - (5) 小テスト (15:50~16:20)：①DX が企業にとってなぜ重要なのか説明して下さい。20点
②から④は各10点 ②次の文を完成させて下さい。DX の D はデジタル、X は _____ である。
③Society5.0 とは、_____ が提唱した「サイバー空間 (仮想空間)」とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する。人間中心の社会のことをいう。
④DX を実現するためのデジタル技術として IoT・AI・Big Data・_____・クラウド・WEB3.0 などあり
⑤なぜ気づき分析し、やめたこと (やめる)、そしてやってみたこと (やってみる) について述べよ 50点

寄付講義（現代経営実践論）レポート

柑芦会 松野

1. 日時：2025.11.13 13：10～16：20

2. 講師：仲摩 和紘様（57期）

デロイトトーマツ リスクアドバイザーリー合同会社 マネージャー

3. 受講生： 107名

4. テーマ： ①～キャリアの前にライフを考える～

②～自己理解、自分の軸や強みを知る～

③～自分磨きと仕事の本質を体現する～

5. 自己紹介：愛知県出身 2009年 和歌山大学経済学部卒

6. 経歴：2009年にアイシン精機(株)（現 (株)アイシン）に入社。海外（中国）赴任 中国から帰任後現職

7. 講義

①はじめに「ワークとライフの関係性」と題して両者のバランスをとるとはどのようなことか？から始まった。

たとえば「ワーク」には キャリアアップ、昇進、昇格、働き方改革、職場の人間関係、残業 があり

「ライフ」には 家族との時間、リフレッシュの時間（一人時間、趣味）、自己啓発の時間 など

講師の仲摩さんは「ワークとライフは、対等ではなく、ライフがあって、その中にワークがある」

「ワークとライフを別々のものとして考えるのではなく総合的にとらえる働き方、考え方」としベースに

なる、自分自身の“ライフ”をどう考える？ことが大事。と考えを披露しここで1回目の個人ワークに入る。

②次にご自身の業務の紹介を通じて「自己理解、自分の軸や強みを知る」ことを強調。

ここで今まで在職してきた時の良かったこと、失敗したことを紹介。

「断片的にはたくさん失敗しましたが、中長期的には成長の糧になっている」

海外赴任を経験したことで「ライフもキャリアも環境を変えたことで、『人』として

『キャリア』としての深みが増した」という。

③個人ワーク1回目：「あなたの今後のライフを考えてみよう」60歳までの自分なりのライフを描いてみる

個人ワーク2回目：「あなたの軸や強みを探そう」と題して過去から現在までの出来事を振り返り、自分が

「大切にしている事」や、「強み」は何か？を考える。

④グループワーク PDCAの実践、体現をしてみましよう！新聞の「の」を探せ！

PDCAとはPlan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→Act（改善）であり、

1回目は4人1組でグループを作り新聞紙1枚を用意。新聞紙上の「の」の文字の数を数え、いくつの

「の」を見つけたかを集計する。

2回目は1回目の作業の反省をする、やり方、場所など。2回目の目標値を設定。目標達成に向けて、対

策を練る。新聞紙上の「の」を探して集計する。実践して対策の効果を確認する。

最後にグループワークの発表を実施

あるチームは、2回目には新聞紙上の「の」にマーカーなどで印をつけて数えやすくするなど工夫改善

して数える数値を増やした。別チームでは紙面を撮影し生成 AI を駆使して数えさせた。両チームとも

PDCAの精神をきっちり実践して見事なプレゼンテーションだった。

⑤クロージング PDCAは「自分磨き」でもあり、「仕事の本質」です。今後のアクションプランをもう一度

好きな事、やりたいことを見つけて、没頭しよう

いつもと違う事をやってみよう（環境を変えてみる）

上記①～③を実施後、15：50～：小テスト 個人で本日の講義の筆記テスト

1. 日時：2025年11月20日（木）13：10～16：20

2. 講師：城大輔様（51期）三井住友信託銀行(株)大阪本店不動産営業部営業第2課課長

補佐：湯浅正祥様三井住友信託銀行(株)大阪本店総括部人事チーム調査役

補佐：相島翼様三井住友トラスト不動産(株)近畿営業本部

3. 受講生：105名

4. 講義内容：テーマ『金融業界・不動産業界について』

(1)13:25～13:35(湯浅さん)：信託についての説明

①信託の仕組み：委託者⇒受託者（信託銀行）⇒受益者

②信託の主な機能：財産管理、倒産隔離（委託者の場合、受託者の場合）、転換（能力・資産・時間）

(2)13:35～14:15(相島さん)：三井住友トラスト不動産についての説明（不動産業界を含む）

①会社の概要：三井住友トラストグループの中核を担う不動産売買の仲介専業会社

②不動産業界：大きく3つの業種（開発、流通・仲介、管理）に分かれている

③売買仲介の仕組み：売主と買主の売買契約締結を仲介する（自社商品等はない）

④社内の制度：専任担当制度や人材育成制度

(3)14:15～14:45(湯浅さん)：三井住友信託銀行についての説明（金融業界を含む）

①会社の概要：金融機関の中での信託銀行の位置づけ、三井住友信託銀行の挑戦の歴史

②信託業務とは：資産運用・管理業務（年金運用・管理、相続等）、不動産ソリューション業務（仲介、開発・建築コンサル等）、証券代行業務

③お客様とは：個人（富裕層中心）、法人（大企業中心）、投資家（機関投資家）

④社内の制度：自律的キャリア形成を後押しする人事制度（キャリア支援制度）

(4)14:55～15:45(城さん)：グループワーク（1グループ5～8人）

①グループ討議（25分）：各グループがA またはB どちらかを選択・検討する

A.「あなたはどのような商品を信託の器を用いて作ってみたいですか。」

B.「和歌山県の経済価値を高める施策を不動産と金融の両面を活用した上で考えてください。」

②グループ発表（15分）：A 選択2グループ、B 選択1グループが各々発表して講師が解説・総評する

(5)15:45～15:55(城さん)：不動産マネジメントサイクルについての説明

(6)15:55～16:10(城さん、湯浅さん、相島さん)：パネルディスカッション

①入社決め手は？：城さんと湯浅さんの2人が自身の就職活動経験談を披露

②最も印象に残っている業務は？：相島さんが自身の職務経験談を披露

5. 小テスト（約30分）

(1)- A.あなたはどのような商品を信託の器を用いて作ってみたいですか？

①商品名、②登場人物（委託者・受託者・受益者）、③信託の目的・狙い

(1)- B.和歌山県の経済価値を高める施策を不動産と金融の両面を活用した上で考えてください。

①施策内容、②三井住友信託銀行と三井住友トラスト不動産の関わり方

(2)あなたが働く上で、大切にしたいことは何ですか？

今日の講義で出たキーワードを2つ以上使って記載してください。

(3)本日の講義を受けて、関心をもった・挑戦をしたい三井住友トラストグループの業務は何ですか？

その理由を含めて記載してください。

寄付講義（現代経営実践論）レポート

柑芦会 種坂 記

1. 日時 2025.11.27 13:10~16:20
2. 講師：和歌山県 福祉保健部 健康推進課 佐伯 友希様（59期）
スタッフ：人事課 大谷富士雄様（班長）、人事委員会 外山昂生様（副主査）
3. 受講生： 109名
4. 自己紹介：2011年3月和歌山大学経済学部卒業→同年4月和歌山県庁採用→同年福祉保健部長寿社会課
5. 講義目的：①和歌山県庁の業務 30分②県職員の待遇と試験制度 20分③これまでの職業生活について 20分
休憩 10分④プレコンセプションケアについて 30分⑤個人ワーク 10分⑥グループ編成と意見交換 30分
⑦グループ発表 20分⑧小テスト 20分（合計 180分）
6. 講義
 - (1) 和歌山県庁の業務(人事課 大谷班長)：和歌山県職員の仕事～地方自治体の役割～地政学的分類、暮らしと環境、和歌山県の仕事と組織、今年度の県の重点施策、県職員の研修と採用、ミッションとポリシー
 - (2) 県職員の待遇と試験制度 (人事委員会 外山副主査)：初任給、人事異動、勤務条件等、出産と育児のサポート、I種・資格免許試験の日程と募集、通常募集と早期募集の内容、競争率と女性合格者、求める人材
 - (3) これまでの職業生活について (健康推進課 佐伯主査)：経済学部金川ゼミ所属、ホームレスの実態調査
職歴①福祉保健部長寿社会課②日高振興局地域振興部総務県民課・企画産業課③教育委員会事務局文化政策課④企画部人権政策課⑤商工観光労働部観光振興課⑥福祉保健部健康推進課
●部署移動により様々な経験→過去の経験で次の部署でつながり、より深く業務に携わる
●市町村は直接県民と接する→広域的な視点から1市町村では困難な内容に取り組むことができる。
 - (4) プレコンセプションケアについて
 - ①個人ワーク：自分の将来のライフデザインを思い描いてみよう→自宅で人生100年時代を踏まえて作成。
 - ②体験学習：妊婦体験や赤ちゃん人形を抱っこしてみよう！→男子1名女子1名指名して妊婦ウェアを試着してみる。4つの3kgの赤ちゃん人形を抱っこして、頭の重さや両手で支える方法を学ぶ。
 - プレコンセプションケアが大切と言われる3つの背景
 - ①リスクのある妊娠・・・高齢の不妊治療、やせが低出生体重児の出産、肥満から糖尿病など合併症
 - ②不妊の増加・・・不妊の原因は助成と男性ともにある、喫煙や飲酒など生活習慣の改善
 - ③性や生殖に関する知識の不足・・・性感染症対策（梅毒の発生）子宮頸がんや風疹、虫歯や歯周病の口腔
 - (5) グループワークグループ編成、実習開始に際して6人程度に担当を決める。
【テーマ】大学生などの若者に対してプレコンセプションケアを普及させるためにどうしたらよいか？
付箋に「プレコンセプションの視点で何が大切か」を模造紙に書き上げてグループでまとめる。
発表希望のグループがないため講師がグループを指名して6グループほどに発表してもらおう。
 - (6) 小テスト【課題】
和歌山県において、若者がプレコンセプションケアを実践できるように進めていくためにはどうしたらいいのかを、理由を添えて記載してください。

受講生アンケート（最終回のみ、今までの講義を受講して）

- (1) 7回の講義内容についてのご意見や感想 (2) 自身の職業観醸成等に役立った3講義は (3) 今後も先輩による寄附講義を継続したほうが良いか (4) ガイダンス以降、柑芦会活動について (5) 就職後に寄附講義の講師をしてみたいか (6) その他寄附講義に関するご意見やご要望 (7) 学年は何年生か